



子どもにやさしい社会づくりのための施策展開

- 社会全体の構造・意識の改革を進めることにより、子ども・子育てにやさしい社会の実現を図る。

【提案・要望先】内閣府

1. 提案・要望内容

子どもや子育て中の方々の声を踏まえた施策展開

- 子どもや子育て中の方々の声を大事にした施策の確実な展開と国民運動による機運醸成

2. 提案・要望の理由

- 「こどもまんなか」社会の実現のためには、地域社会、企業など様々な場で、年齢、性別を問わず、全ての人が子どもや子育て中の方々を応援するとともに、子どもや子育て中の方々がそのことを実感できる社会となるよう、社会全体の構造・意識の改革を進める取組の着実な実施が必要。
- 令和5年3月31日に国が発表した「こども・子育て政策の強化について（試案）」においても意識改革に国民運動として取り組むことが示されたところであり、子ども政策を実効あるものとするには、国や地方団体だけでなく、企業や民間団体、個人をも巻き込んだ取組が重要であると共感するところ。
- 本県では、生まれてきた全ての子どもたちを対象に贈り物を届ける等の社会で子どもを支援する事業や、コロナ禍においても子どもたちの笑顔を増やし、子どもたちが生き生きと過ごすための生活様式である「すまいる・あくしょん」を約3万人の子どもの声を集めて策定。参画する事業者とともに社会の行動変容に繋がる事業を独自にいち早く展開している。
- 国においても、地方での取組と十分に連携し、子どもや子育て中の方々の声を大事にした施策を確実に展開するとともに、社会全体の機運醸成および国民の行動変容の実効性を保つことが必要。

(本県の取組状況と課題)

(1) 「すまいる・あくしょん」

- コロナ禍の下で子どもの笑顔を増やすためにみんなが取り組める行動や方法、条件などを、約3万人の子どもの声を集め、子ども目線の新しい行動様式として定めた（令和2年10月）。
- 専用Webサイトや体験型イベント（R4 来場者約2,600人）の開催等を通じて周知を行い、趣旨に賛同する民間企業や団体を募り、取組を広げている。
- 実績
「すまいる・あくしょん宣言」
企業・団体数 93者（R5.5.1時点）



(2) 「滋賀で誕生ありがとう事業」

- 滋賀で誕生した子どもやその家族に「おめでとう」「ありがとう」の気持ちを届け、社会全体で子育てを応援していることを示すとともに、応援の機運を醸成するため、企業等と連携して、滋賀ならではの祝い品や、協賛品、子育てリーフレット等を届け、その訪問の際に状況を把握して、必要な支援につなげている。
- 実績 令和4年度申込件数 6,290件
令和4年度協賛企業数 17社（資金協賛2社、物品協賛12社、役務協賛3社）

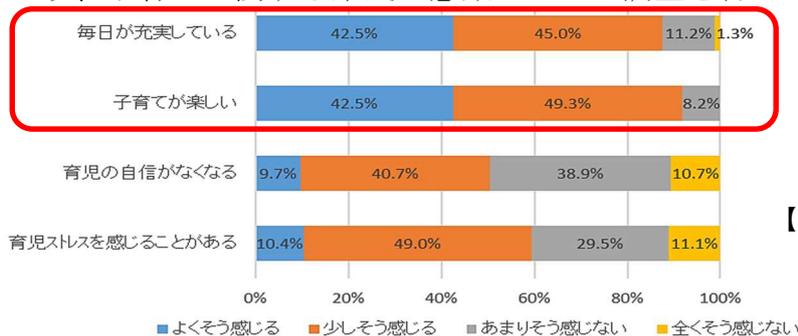
対象者アンケート結果 (R3)	とても嬉しい 75.7%	嬉しい 22.6%	普通ほか 1.7%
-----------------	--------------	-----------	-----------



- 「子どもの笑顔と幸せあふれる滋賀」を目指して、行政、地域、企業等が連携して取り組んでいることを全国に発信。
- 子どもを産み、育てることは負担にもままして、「楽しい・毎日が充実している」というポジティブキャンペーンを展開。

(3) 「子育てに関する県民意識調査」

県民の意識改革の取組がデータに基づいた効果的、合理的な内容のものとなるよう、子育てに関する県民の意識について調査を行っている。



➡ ポジティブ
キャンペーンの
展開が有益

【資料】 子育てに関する県民意識調査
滋賀県
平成30年（2018年）